

## 時計台記念病院・時計台記念クリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。研究への協力を希望されない場合は、下記お問い合わせ先までお知らせください。その場合でも、患者さまに不利益が生じることはありません。

※単施設研究用

研究課題名	当院脳卒中患者のリハビリテーションの質検証の妥当性について
当院の研究責任者	所属：時計台記念病院 氏名：渡辺智也
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 西暦 2024 年 7 月 31 日
研究の意義・目的	回復期リハビリテーション病棟では、日常生活動作を改善することが主たる目標とされます。リハビリテーションの内容や進捗により、患者様の中で獲得できる動作の数などに差が出現することがあり、多く動作を獲得した方がリハビリテーションの質が高いと考えられますが、このような質を検証した研究はほとんどありません。 近年、機械学習手法の発達により、このような検証が可能になってきています。そこで、本研究では、入院時の評価項目から算出した退院時の日常生活動作の予測値と、退院時の身体機能面の評価から算出した日常生活動作の予測値とを、実際の退院時の数値との差を算出し比較することで、これらの質検証の方法が妥当であるかどうかを検証することを目的としています。
研究方法	《対象となる患者様》 2014 年 12 月から 2022 年 3 月 31 年までに当院回復期病棟に入院した脳卒中片麻痺患者 退院先が急性期病院・回復期病棟・死亡となっている方は除外とします 《利用する試料・情報》 リハビリテーションを行う際に測定した、評価尺度の数値を用います。 また、年齢・性別・疾患名・病側・病前生活・転帰先・発症日・入院日・退院日・身長・体重・単位数等の基本情報も用います。 《研究方法》 2014 年度から 2019 年度までの入院の方のデータから、入院時の身体状況から退院時の能力を予測する予測式を作成します。その予測式で、2020 年度、2021 年度の方々の予測値を算出し、予測値と実際の退院時の数値を比較することで、質検証を行います。
個人情報の取り扱い	ID や個人名などの個人情報については院内へ保管し、院外へは持ち出しません。 2023 年 9 月 30 日をもち、匿名化を行いますので、研究への参加を希望されない場合はそれまでにご連絡ください 発表にあたり、個人が特定されるようなデータは公表致しません。
その他 (利益相反等)	公開すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	照会先および研究への協力を拒否する場合の連絡先 社会医療法人 社団 カレスサッポロ 時計台記念病院 担当者：医事課 鈴木 〒060-0031 北海道札幌市中央区北 1 条東 1 丁目 2 番 3 号 ☎ (011) 251-1221